

3 加西っ子の生活習慣や学習習慣について —「児童・生徒質問紙調査」結果から—

子どもたちの学力は、生活習慣や学習習慣が基盤となっています。加西っ子の生活習慣や学習習慣のうち、特徴のある項目について、平成26～28年度の数値を比べてみました。

(H28の結果のうち、「★」は3年間で最も良好、「▲」は3年間で最も課題が見られる項目です)

質問内容	小学校6年生		中学校3年生	
①朝食を毎日食べている	H28 96.3% ▲ H27 97.7% H26 97.2%	H28 96.1% ★ H27 93.4% H26 93.7%		
②ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	H28 92.2% ▲ H27 95.7% H26 95.1%	H28 93.0% ▲ H27 94.4% H26 94.1%		
③将来の夢や目標を持っている	H28 86.7% ★ H27 85.9% H26 86.4%	H28 67.7% ★ H27 66.2% H26 66.0%		
④自分にはよいところがあると思う	H28 76.3% H27 72.3% H26 77.1%	H28 69.9% ★ H27 57.9% H26 59.8%		
⑤いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	H28 96.6% H27 95.9% H26 97.4%	H28 94.8% H27 95.1% H26 94.7%		
⑥平日、テレビやDVDを見る時間は1時間以下である	H28 13.3% H27 15.6% H26 10.8%	H28 18.4% ★ H27 16.9% H26 11.7%		
⑦平日、テレビゲームや携帯ゲーム等をやる時間は1時間以下である	H28 44.5% ▲ H27 51.2% H26 45.7%	H28 48.1% ★ H27 46.3% H26 38.1%		
⑧家で、学校の宿題をしている	H28 98.1% H27 98.5% H26 97.4%	H28 94.1% ★ H27 91.2% H26 84.8%		
⑨読書が好きである	H28 68.8% H27 62.0% H26 73.1%	H28 65.7% ▲ H27 68.9% H26 70.5%		
⑩地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある(テレビやニュースへの関心を含む)	H28 69.3% ★ H27 57.0% H26 60.9%	H28 66.1% ★ H27 54.9% H26 51.1%		

! check

以上の結果から、本年度調査の中で注目すべきは、

- ・家で学校の宿題をするなど家庭での学習習慣の定着
- ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の増加
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童生徒の増加

です。これは、学力の基盤となる子どもたちの意欲や興味、関心の広がりや深まりが見られるようになってきた成果です。今後も、家庭や地域の連携・協力を得ながら、各学校で工夫と特色ある教育活動を展開していきます。



4 加西市の小・中学校における学力向上の取組について

加西市教育委員会では、子どもたちの学力向上について、各学校の特色ある取組をサポートしながら、平成28年度は以下の取組を重点的に推進しています。

① 学習支援システムの導入

- ・ICT機器を利用したデジタル教材やプリント教材の活用による学習の実施

② スクールサポーター事業の拡大

- ・スクールアシスタントやヤングアドバイザー等の学習支援員の全校配置

③ 「かさいがんばりタイム」「かさい未来塾」の実施

- ・市内4中学校における放課後や長期休業中の補充学習の実施

④ 読書活動の活性化

- ・市内全小・中・特別支援学校における蔵書の新規購入
- ・市立図書館による学校図書館コーディネート事業の実施

⑤ 家庭と連携した生活習慣・学習習慣の確立

- ・家庭でのしつけ「ね・ひ・め・つ・こ」、生活習慣「あ・い・う・え・お」、学習習慣「か・き・く・け・こ」の啓発



「加西っ子の生活習慣 あ・い・う・え・お」運動

あ かるい あいさつ

い っしょに 食事

う ーんと 睡眠

え が おで お手伝い

お や こで 読書

かさい 教育 ねっと



(2016.11.1発行)
特集号

平成28年度 加西っ子の学力・学習状況の報告

平成28年4月19日(火)に実施された「平成28年度全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、加西っ子の学力・学習状況について報告します。



1 全国学力・学習状況調査について

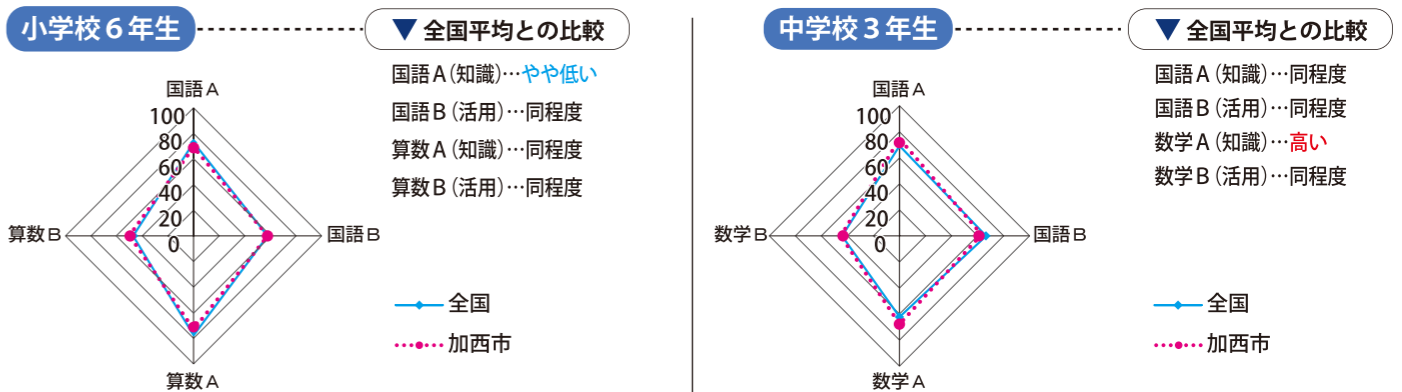
全国の小学校6年生と中学校3年生を対象とし、学力と学習状況の両面からの調査によって、児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立て、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を目指しています。

調査内容は、教科に関する調査として、国語、算数・数学について、それぞれ主として「知識」に関する問題(A問題)と、主として「活用」に関する問題(B問題)が実施されました。また、生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査も実施されました。



2 加西っ子の学力に関する状況について —「教科に関する調査」結果から—

小学校6年生、中学校3年生の国語、算数・数学について教科に関する調査の結果を基に、加西っ子の学力と全国平均を比べてみると以下のとおりでした。



! check

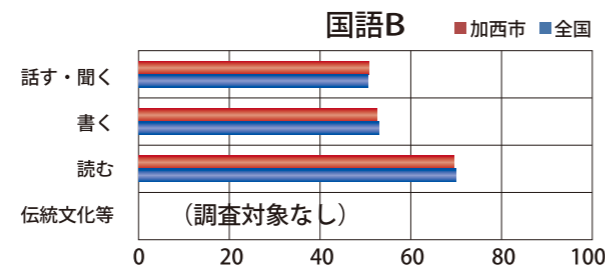
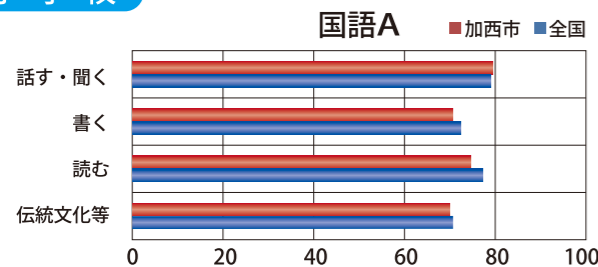
全国平均との比較から、同程度の数値を示している

加西っ子の学力の状況は、小学校では、全国平均との比較から、国語A(知識)はやや低い数値を示しているものの、他は全国平均と同程度でした。一方、中学校では、数学A(知識)で高い数値を示した他は全国平均と同程度でした。

※学力の状況については、各教科・領域ごとに加西市と全国の平均正答率の比較によって把握しています。全国との差が、「±0.0～1.0」を「同程度」、「±1.1～3.0」を「やや高い・やや低い」、「±3.1～」を「高い・低い」としています。

国語

小学校



定着傾向が認められた項目・問題

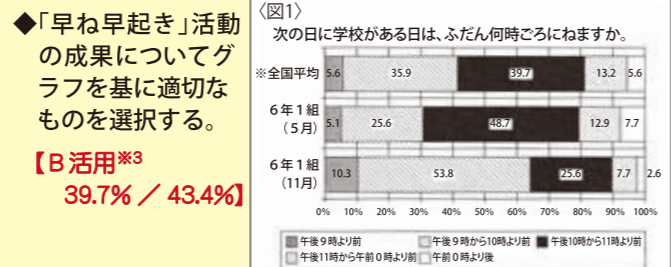
- ◇漢字を正しく読む基礎的な力が身に付いています。
- ◇目的に応じて、図と表とを関連付けて読むことができます。

課題の見られた項目・問題

- ◆平仮名で表記されたものをローマ字で書いたり、ローマ字で表記されたものを正しく読んだりすることに課題があります。
- ◆グラフをもとに、分かったことを的確に書くことに課題があります。

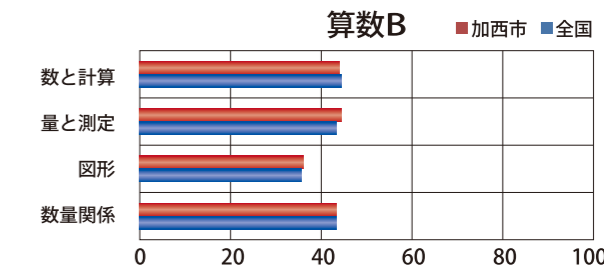
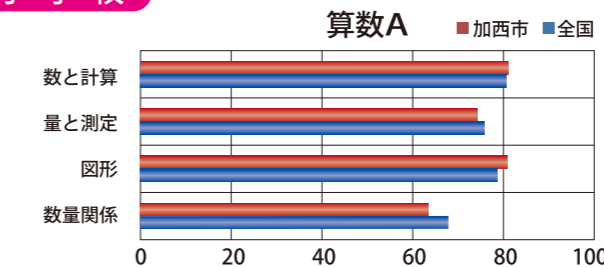
課題の見られた問題例

- ◆ローマ字を書く・読む
「りんご」→「ringo」 【A知識^{※1} 47.5% / 53.2%^{※2}】
「あさって」→「asatte」 【A知識 35.5% / 41.8%】
「hyaku」→「ひやく」 【A知識 43.5% / 50.7%】



算数・数学

小学校



定着傾向が認められた項目・問題

- ◇二つの数の大小関係を表す不等号について理解できています。
- ◇問題場面に示された条件を基に、同じきまりが成り立つかを調べる力が身に付いています。

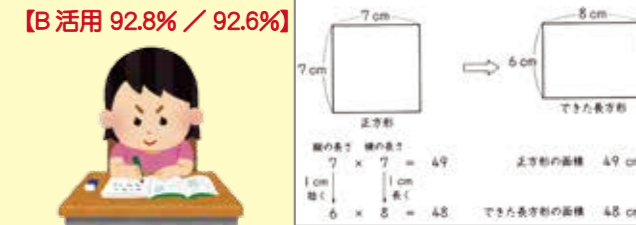
課題の見られた項目・問題

- ◆示された数値の意味を解釈し、それを言葉や数を用いて記述することに課題があります。
- ◆理由や説明を記述する問題形式を苦手とし、無解答率も高い傾向にあります。

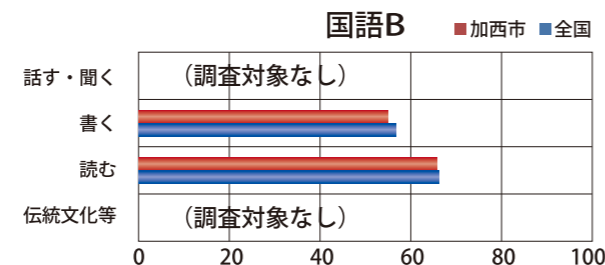
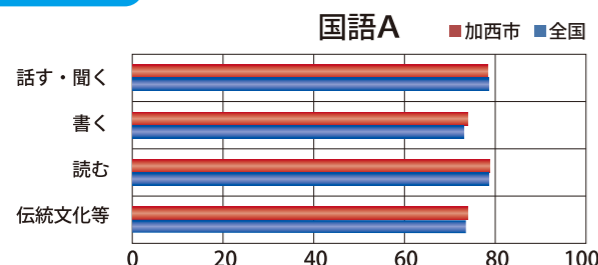
定着傾向が認められた問題例

- ◇2つの数の大小を比べて、□に入る不等号を書く。
「75 □ 25」 「104 □ 112」
【A知識 96.5% / 96.7%】

- ◇1辺が9 cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く。



中学校



定着傾向が認められた項目・問題

- ◇語句の意味や漢字の読み・書きなど基本的な言葉の力が身に付いています。
- ◇相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す力が定着しています。

課題の見られた項目・問題

- ◆文字の形や大きさ、配列に注意して書くことに課題があります。
- ◆自分で課題を決め、それに合った情報の収集方法を考えることに苦手意識をもっています。

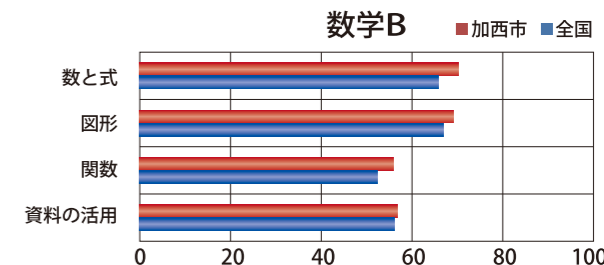
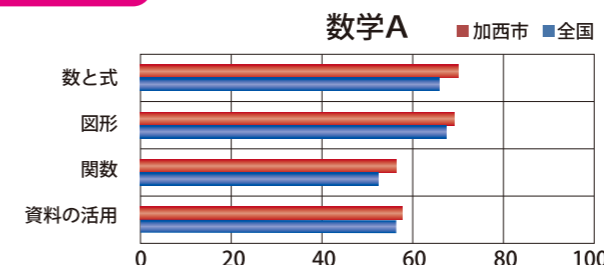
定着傾向が認められた問題例

- ◇漢字を読む「封筒(フウトウ)を開ける。」
【A知識 98.1% / 97.6%】
- ◇漢字を書く「大学で歴史のケンキュウ(研究)をする。」
【A知識 93.3% / 83.5%】

- ◇歌に表れた作者の思いを想像しながら、「忘れがたき」の意味として適切なものを選択することができる。
【A知識 94.4% / 94.9%】

うさぎ 追ひしかの山
小ぶな釣りしかの川
夢は今もめぐりて
忘れがたきふるさと

中学校



定着傾向が認められた項目・問題

- ◇正の数と負の数の加法の計算の力が身に付いています。
- ◇比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができます。

課題の見られた項目・問題

- ◆与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題があります。
- ◆小学校同様、記述式の問題形式を苦手とし、無解答率も高い傾向にあります。

課題の見られた問題例

- ◆文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てて方法を説明する
【B活用 15.3% / 15.4%】



※1 「A知識」→「A(主として知識に関する問題)」 ※2 「47.5%/53.2%」→「加西市の正答率/全国の正答率」
※3 「B活用」→「B(主として活用に関する問題)」

※本調査問題については、国立教育政策研究所のウェブページ (<http://www.nier.go.jp/16chousa/16chousa.htm>) でご覧いただけます。